

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

那珂市教育委員会

全国学力・学習状況調査とは

○ 調査の目的

- ⇒ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ⇒ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ⇒ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 調査の対象とする児童生徒

- ⇒ 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年

○ 教科に関する調査

- ⇒ 国語、算数・数学、理科

○ 調査事項・内容

【教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)】

- ⇒ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能等
- ⇒ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

- ⇒ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈教科に関する現状〉

小学校国語の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。
- ◇ 話し言葉と書き言葉との違いを理解する。
- ◇ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。
- ◆ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
 - ・【文章2】の中の____部イを、漢字を使って書き直す。
(はんせい)

小学校算数の成果と課題

- ◇ 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。
- ◇ 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。
- ◆ 示された場面のように、数量が変わっても割合を変わらないことを理解している。
- ▲ 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈教科に関する現状〉

小学校理科の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- メスシリンダーという器具を理解している。
- 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。
- ◇ 日光は直進することを理解している。
- ▲ 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。
- ▲ 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。
- ▲ 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈教科に関する現状〉

中学校国語の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。
- 行書の特徴を理解する。
- ◆ 論理の展開などに注意して聞く。
- ◆ 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する。

中学校数学の成果と課題

- 自然数を素数の積で表すことができる。
- 一次関数の変化の割合の意味を理解している。
- ◇ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- ◆ 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈教科に関する現状〉

中学校理科の成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

- 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できる。
- 課題に正対した考察を行うためのグラフを作成することができる。
- 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈することができる。
- ◇ 観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明することができる。
- ◇ 露頭の観察において、岩石に関する知識及び技能を活用することができる。
- ◆ 水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みを探究する学習場面において、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈することができる。
- ◆ 考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善することができる。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

○ 各分野ごとの問題の領域

⇒ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- ・ 「我が国の言語文化に関する事項」
- ・ 「話すこと・聞くこと」 ・ 「書くこと」
- ・ 「読むこと」

【算数】

- ・ 「数と計算」 ・ 「図形」 ・ 「変化と関係」
- ・ 「データの活用」

【理科】

- ・ 「エネルギー」を柱とする領域
- ・ 「粒子」を柱とする領域
- ・ 「生命」を柱とする領域
- ・ 「地球」を柱とする領域

○ 問題形式

⇒ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校:教科に関する現状〉

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【国語における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

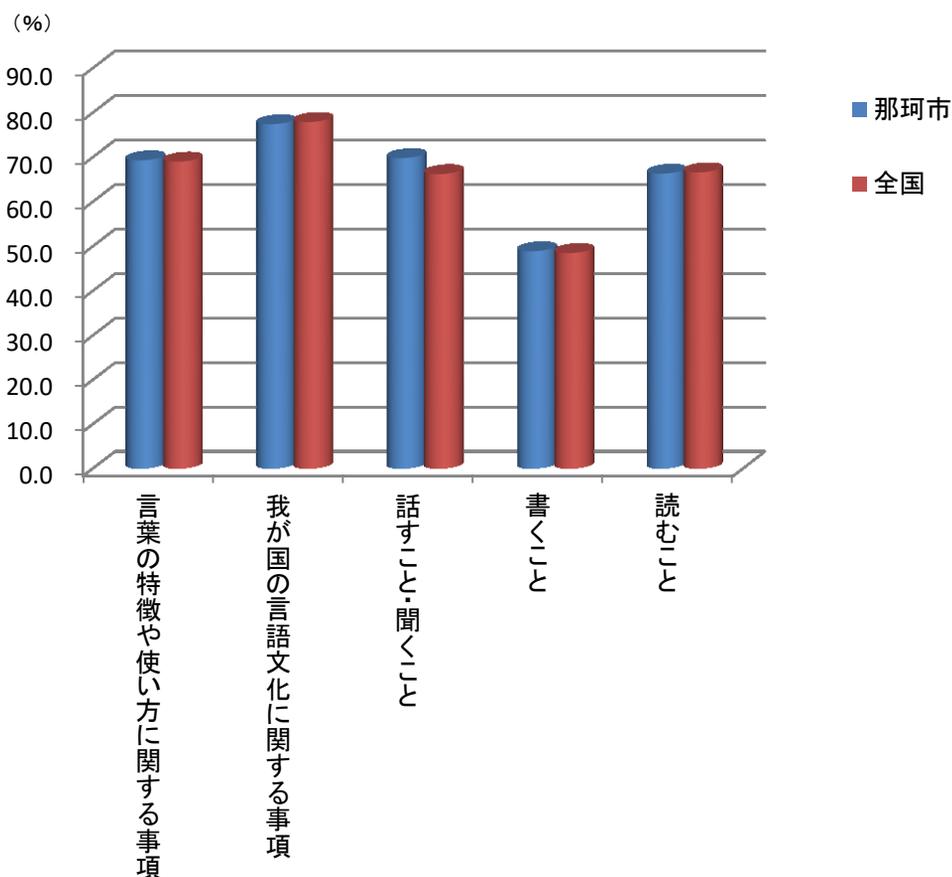
- ◇ 「話すこと・聞くこと」の領域で成果が見られる。
- ◆ 「短答式」の問題形式で課題が見られる。

小学校

国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



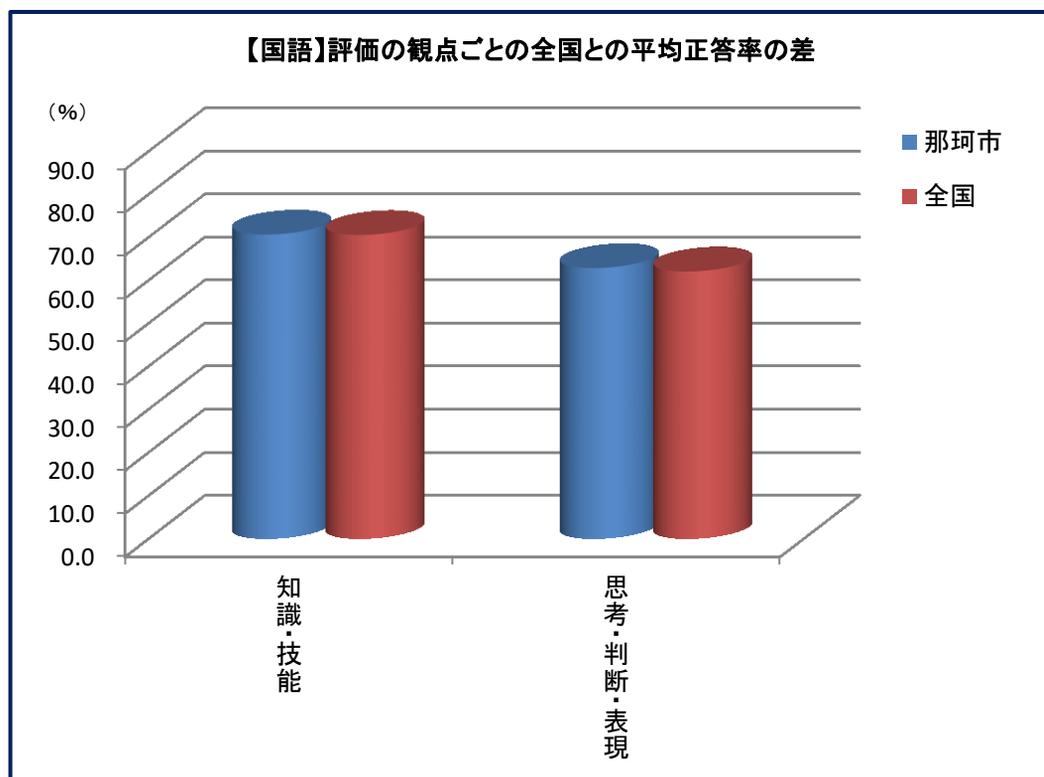
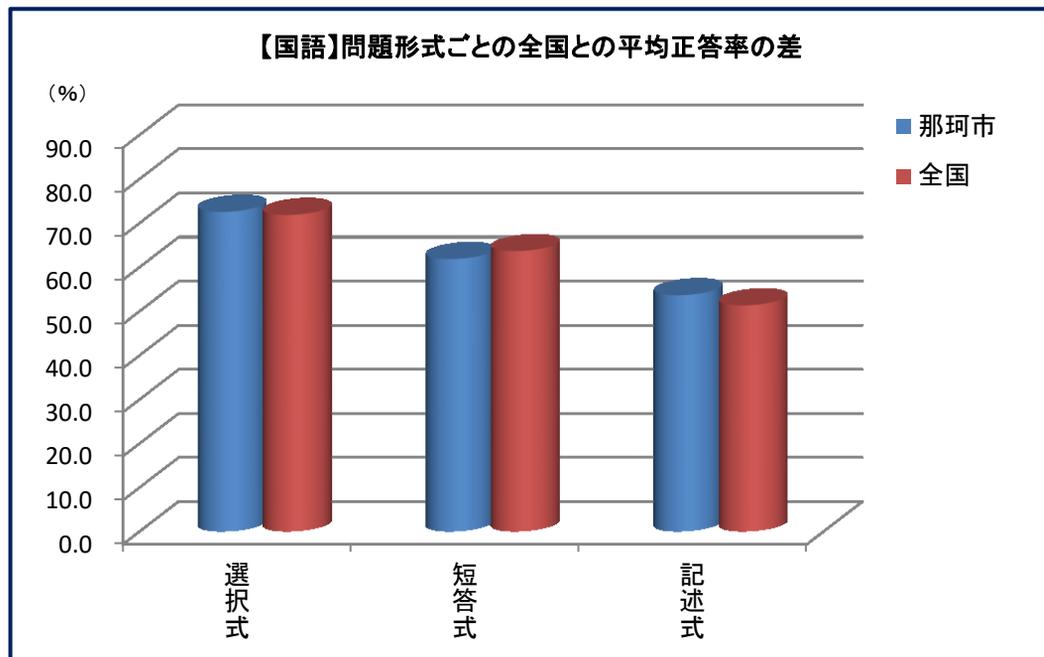
【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

国語

(設問数14問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校:教科に関する現状〉

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【算数における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

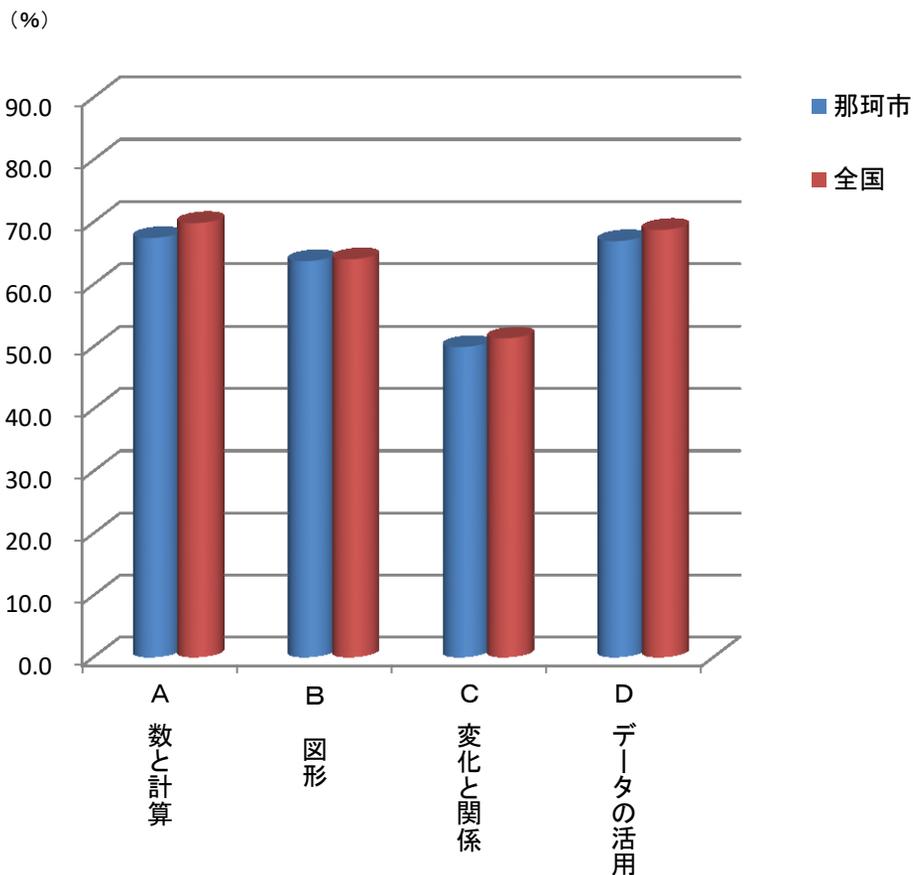
- ◇ 「図形」の領域で国と同等の力が見られる。
- ◆ 「数と計算」の領域で課題が見られる。

小学校

算数

(設問数14問)

【算数】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

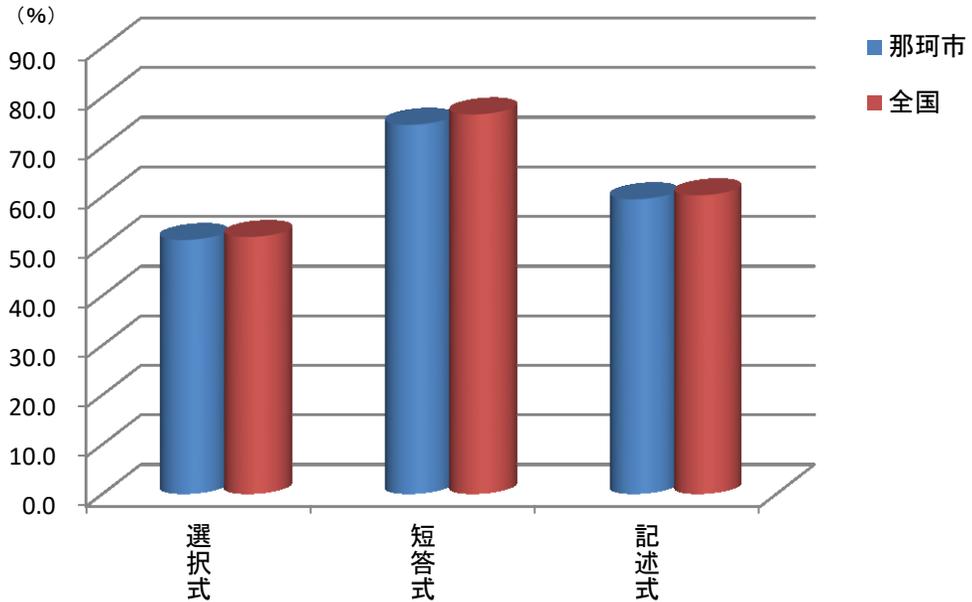
令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

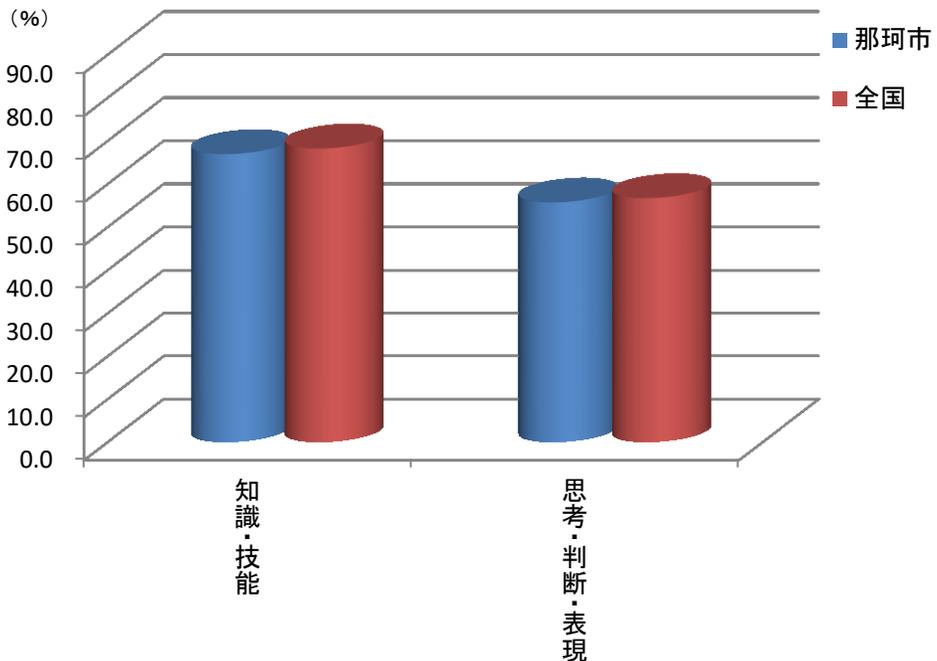
算数

(設問数14問)

【算数】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



【算数】評価の観点ごとの全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校:教科に関する現状〉

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【理科における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

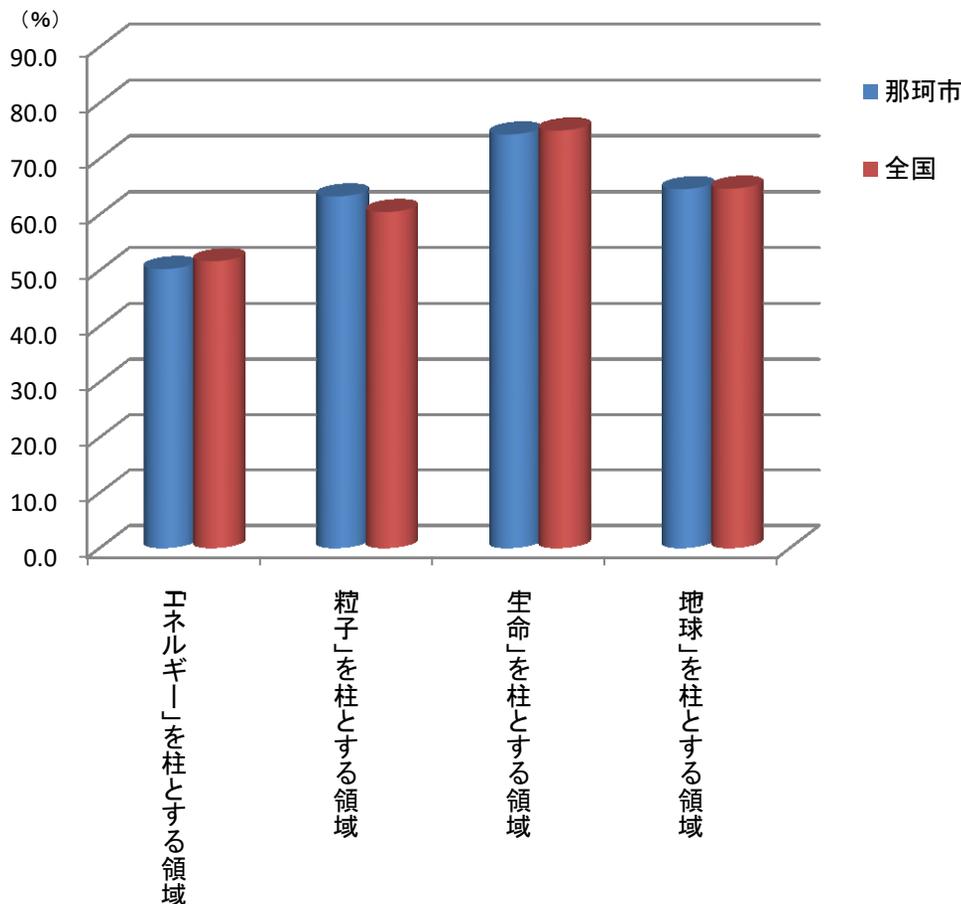
- 「短答式」の問題形式で特に成果が見られる。
- ◆ 「記述式」の問題形式で課題が見られる。

小学校

理科

(設問数21問)

【理科】学習指導要領の区分・領域における全国との平均正答率の差



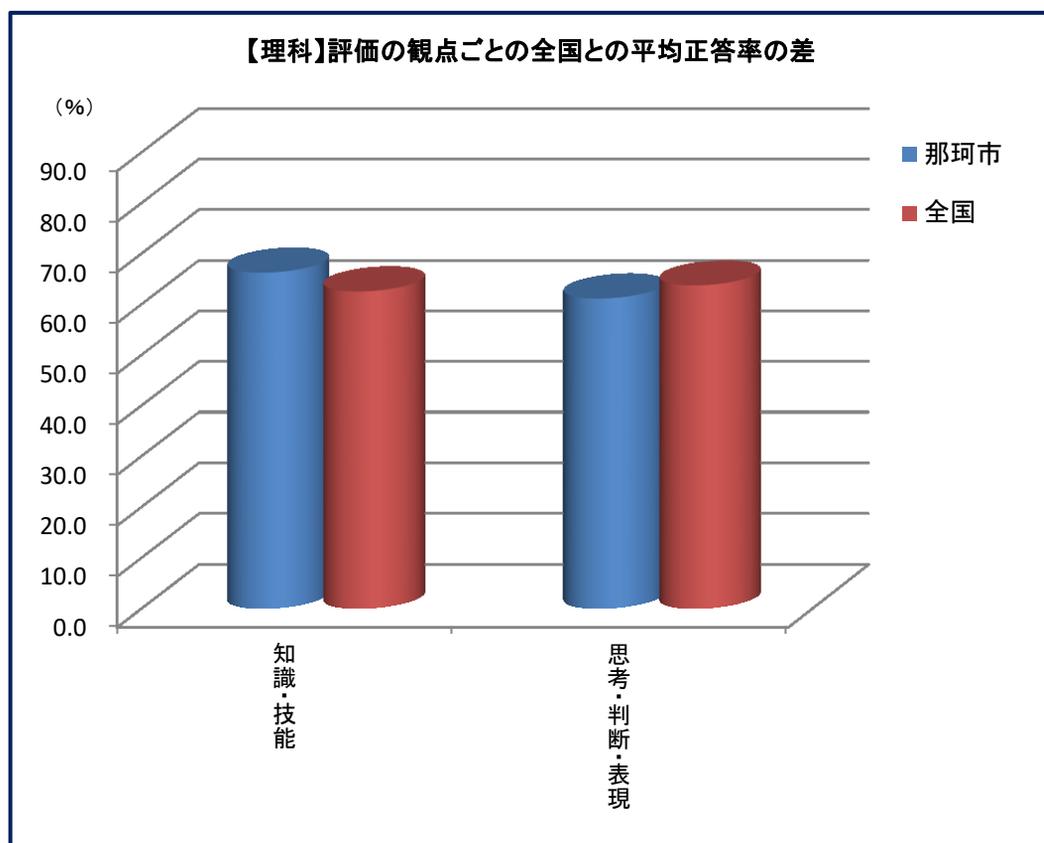
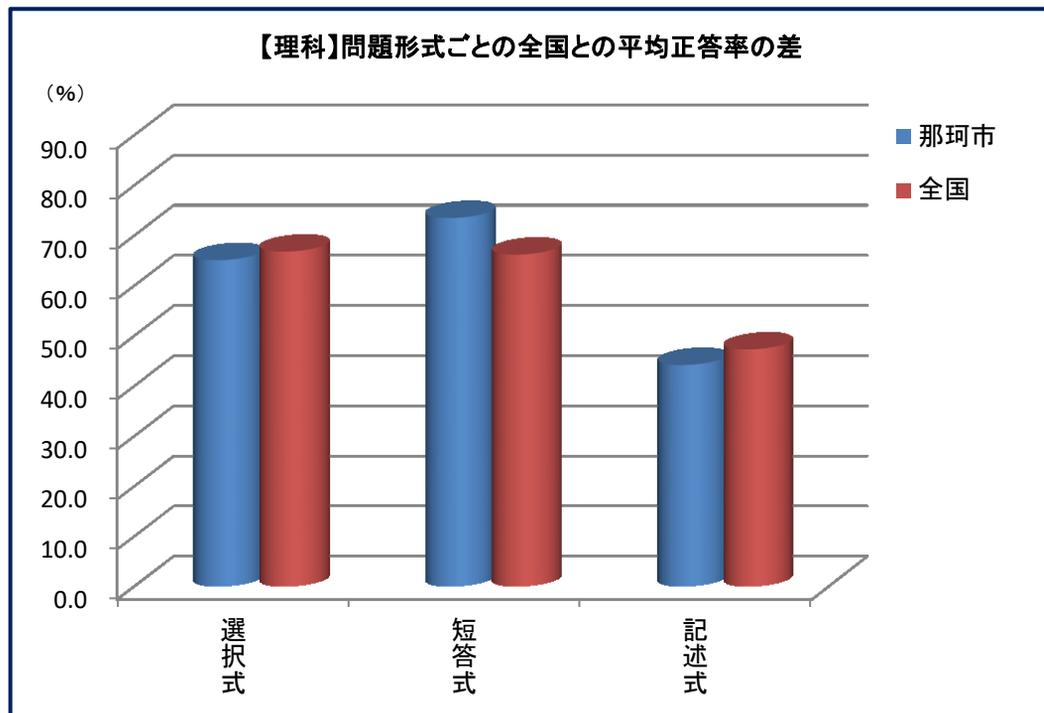
【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈小学校：教科に関する現状〉

小学校

理科

(設問数21問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について〈中学校:教科に関する現状〉

○ 各分野ごとの問題の領域

⇒ 各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

【国語】

- ・ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
- ・ 「情報の扱い方に関する事項」
- ・ 「我が国の言語文化に関する事項」
- ・ 「話すこと・聞くこと」 ・ 「書くこと」
- ・ 「読むこと」

【算数】

- ・ 「数と式」 ・ 「図形」 ・ 「関数」
- ・ 「データの活用」

【理科】

- ・ 「エネルギー」を柱とする領域
- ・ 「粒子」を柱とする領域
- ・ 「生命」を柱とする領域
- ・ 「地球」を柱とする領域

○ 問題形式

⇒ 選択式、短答式、記述式の3種類が出題されている。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【国語における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

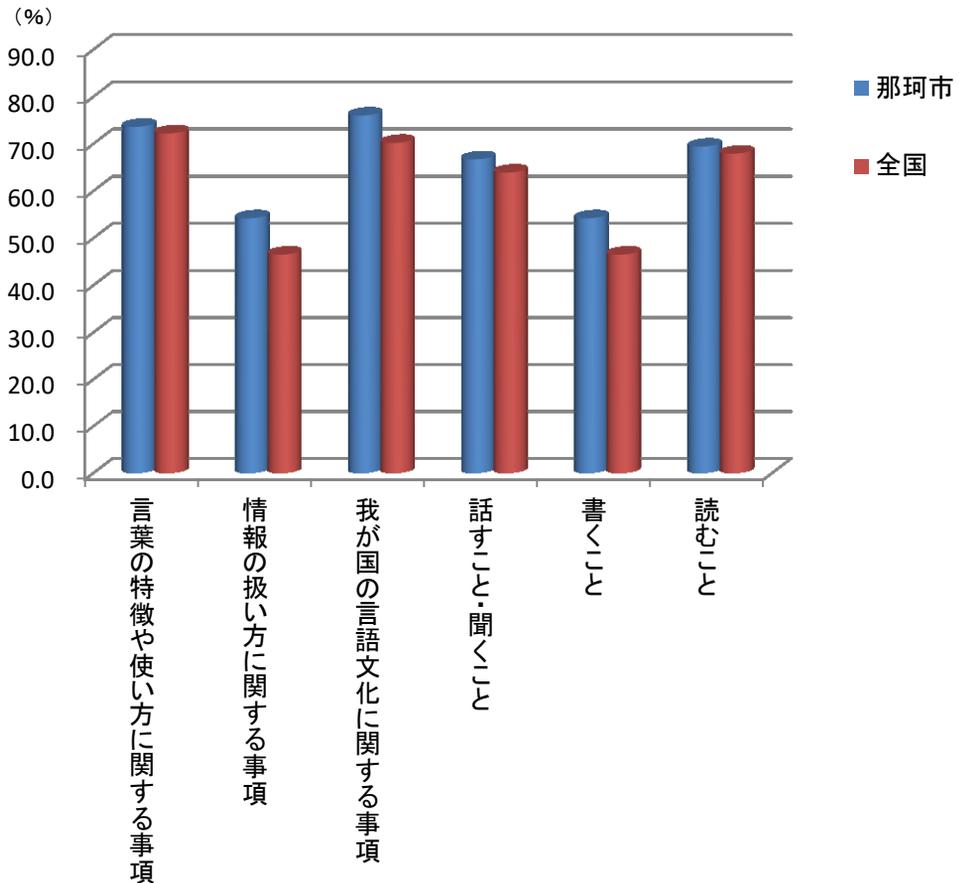
- 「情報の扱い方に関する事項」の領域で特に成果が見られる。
- 「書くこと」の領域で特に成果が見られる。

中学校

国語

(設問数14問)

【国語】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

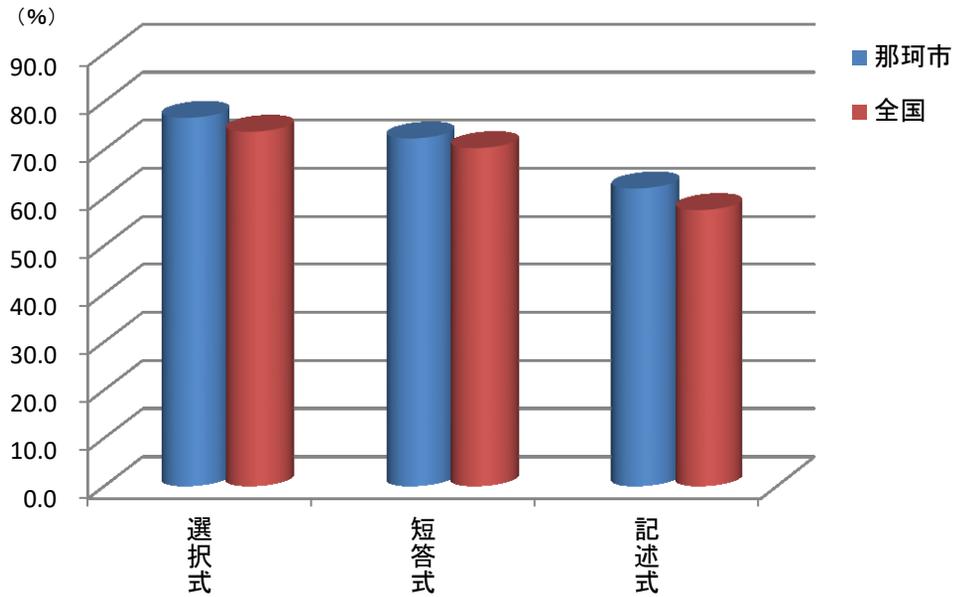
令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

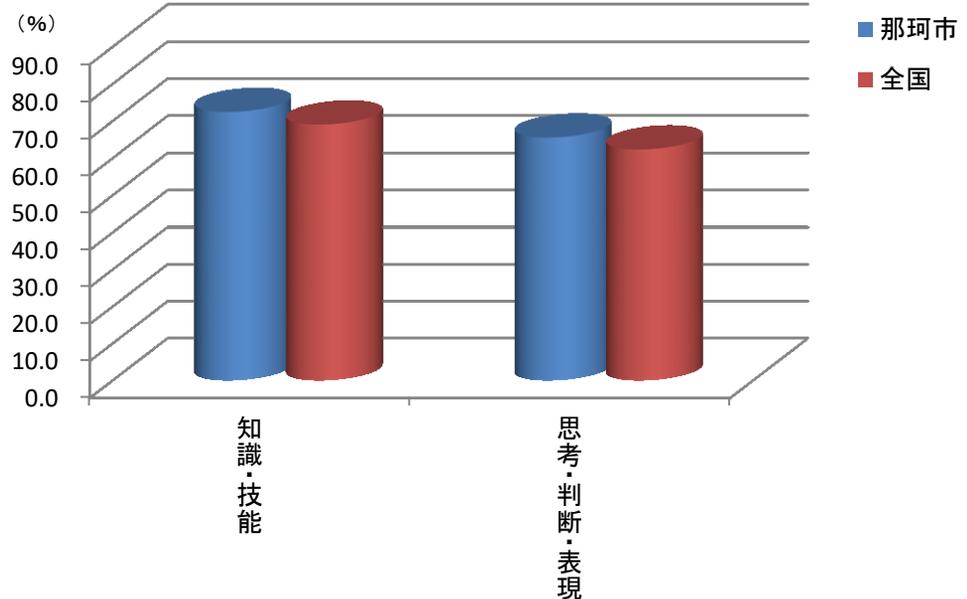
国語

(設問数14問)

【国語】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



【国語】評価の観点ごとの全国との平均正答率の差



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【数学における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

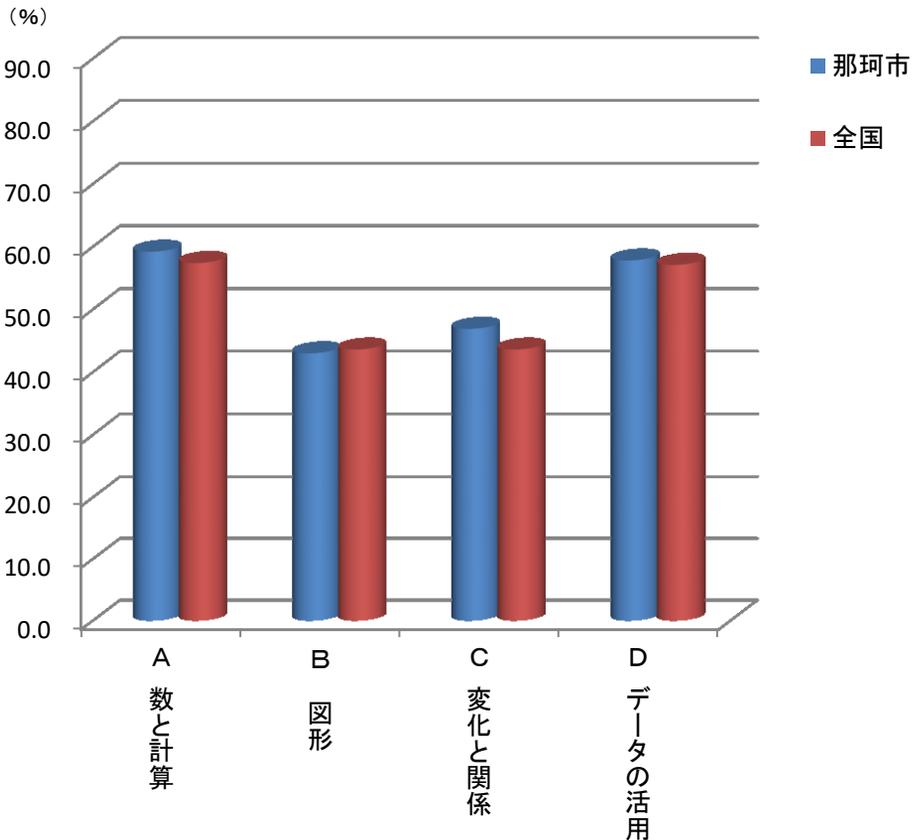
- ◇ 「変化と関係」の領域で成果が見られる。
- ◇ 「選択式」の問題形式で成果が見られる。

中学校

数学

(設問数14問)

【算数】学習指導要領の領域における全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

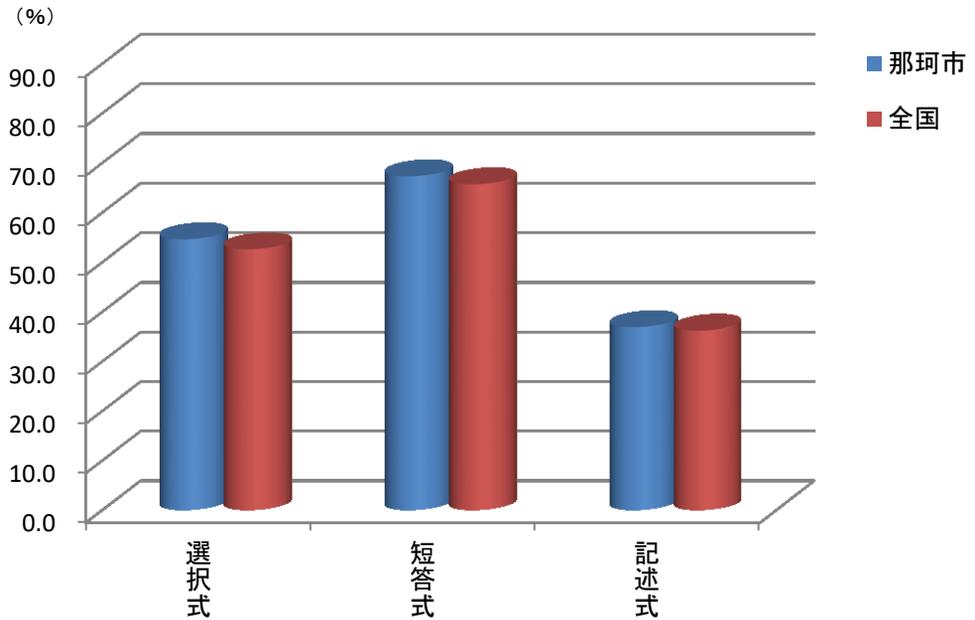
令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

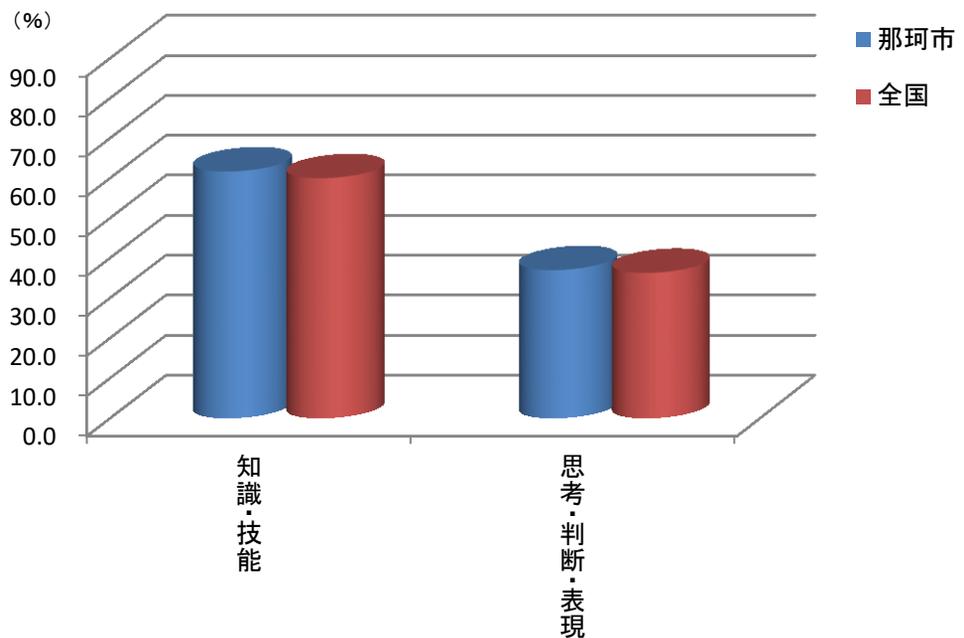
数学

(設問数14問)

【算数】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



【算数】評価の観点ごとの全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

各領域及び問題形式の主な成果と課題

○ 特に成果 ▲ 特に課題
◇ 成果 ◆ 課題

【理科における各領域及び問題形式の主な成果と課題】

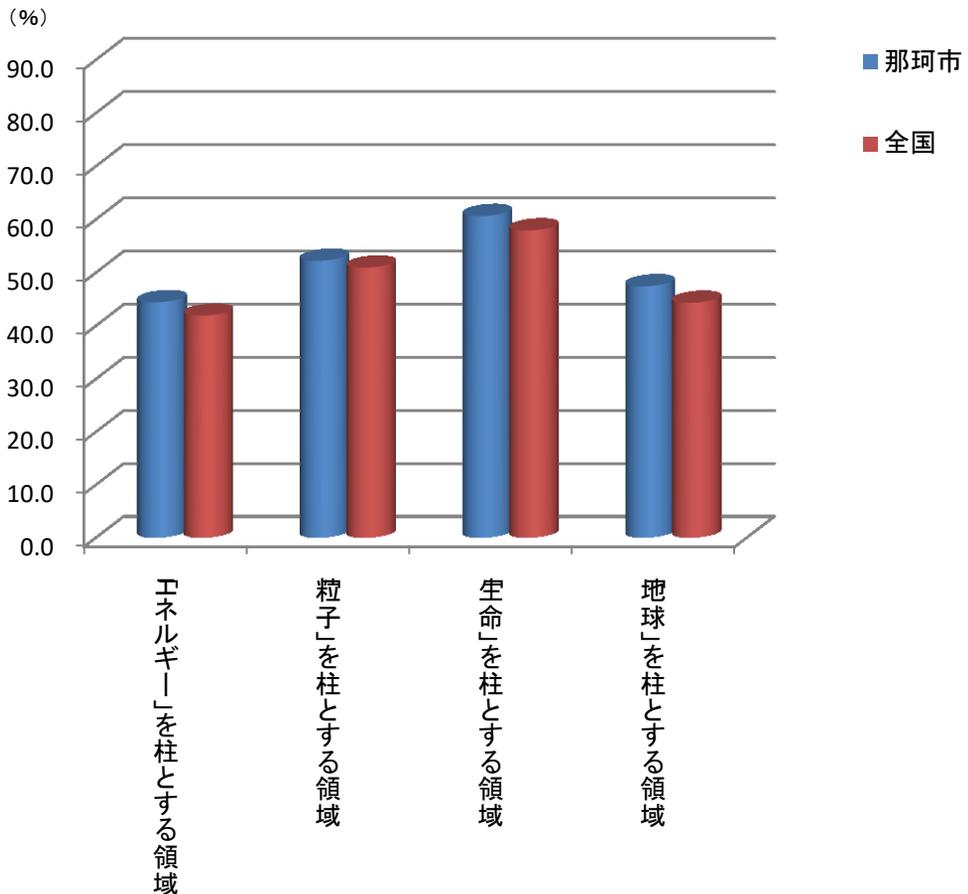
- ◇ 「地球」を柱とする領域で成果が見られる。
- ◇ 「選択式」の問題形式で成果が見られる。

中学校

理科

(設問数21問)

【理科】学習指導要領の区分・領域における全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

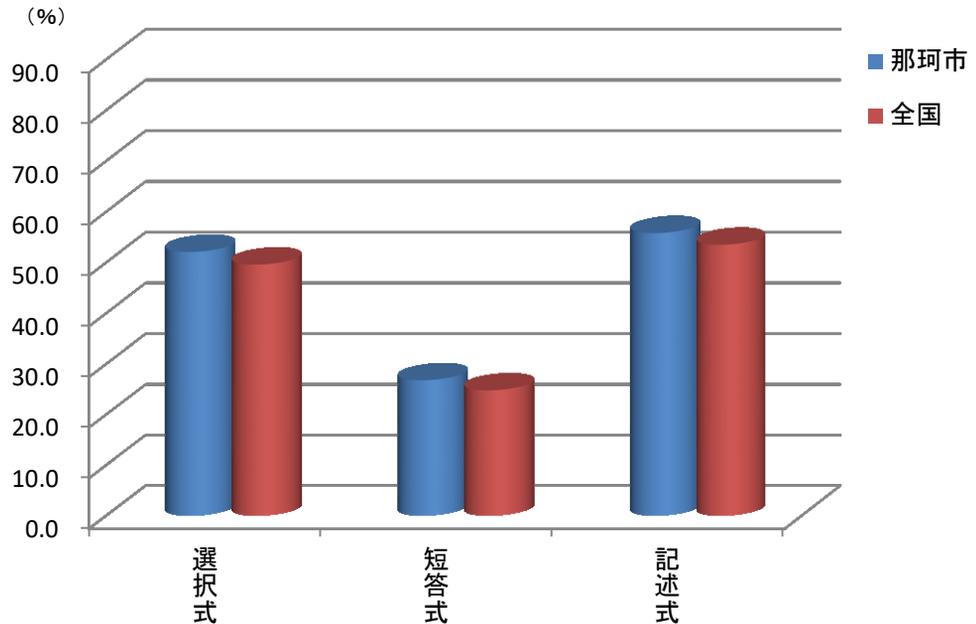
令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

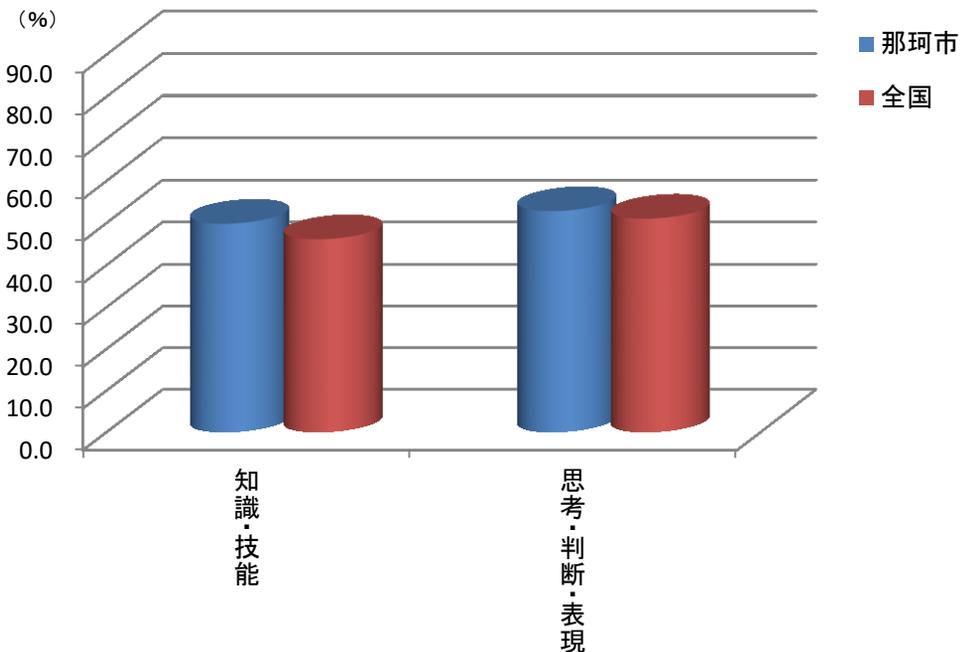
理科

(設問数21問)

【理科】問題形式ごとの全国との平均正答率の差



【理科】評価の観点ごとの全国との平均正答率の差



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>をご覧ください。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年419人、中学3年422人】>

◇基本的な生活習慣における全国との比較(参考:茨城県)

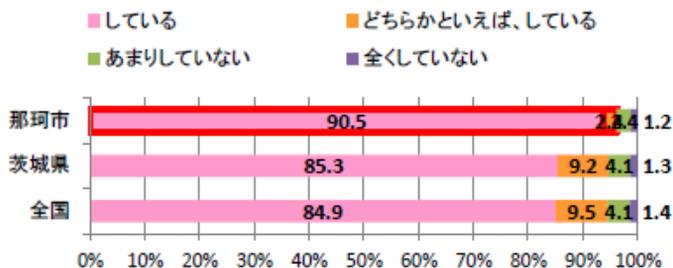
※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

小学校

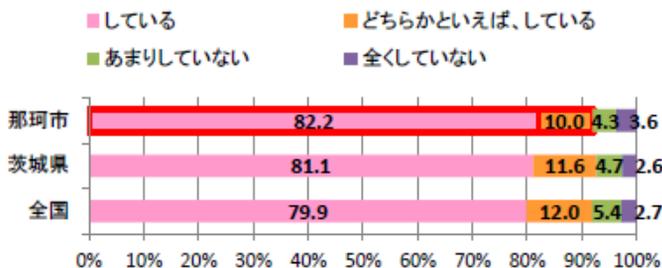
中学校

◇「朝食を毎日食べていますか。」については、全国と比較すると小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

Q:朝食を毎日食べていますか。

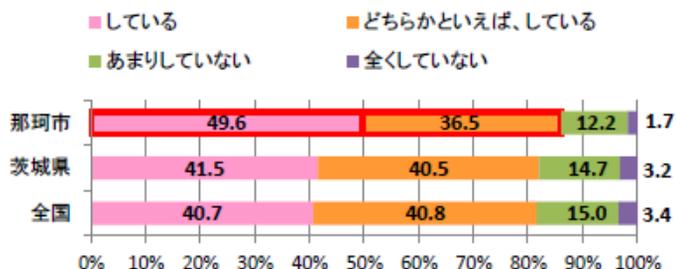


Q:朝食を毎日食べていますか。

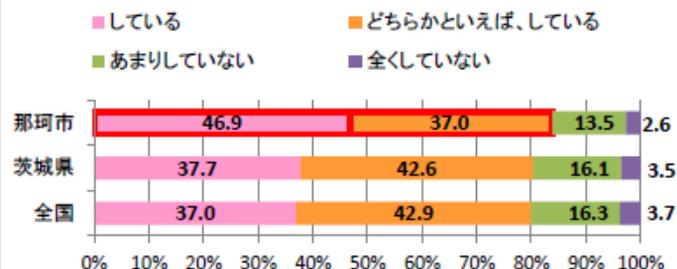


◇「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともにやや高い傾向が見られる。

Q:毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

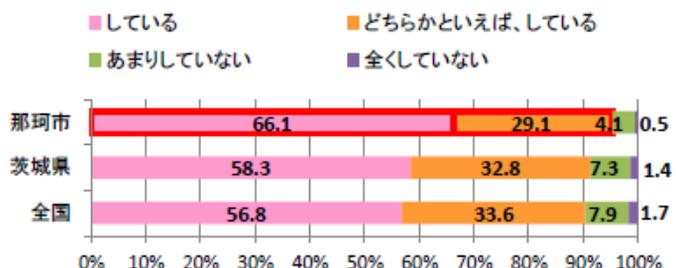


Q:毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

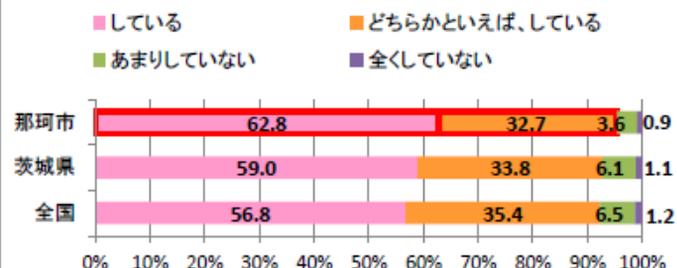


◇「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともにやや高い傾向が見られる。

Q:毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



Q:毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



令和4年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年419人、中学3年422人】>

◇自尊感情における全国との比較(参考:茨城県)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合(%)で比較。

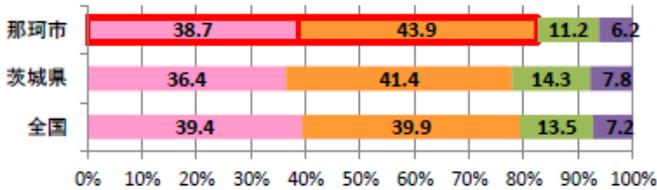
小学校

中学校

◇「自分には、よいところがあると思いますか。」については、全国と比較すると、小学校はやや高い傾向、中学校はやや低い傾向が見られる。

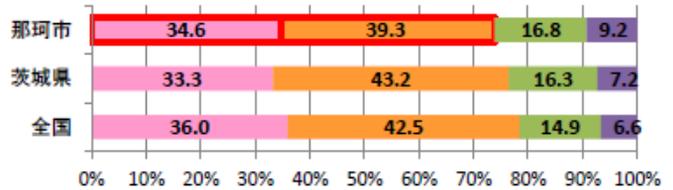
Q:自分には、よいところがあると思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q:自分には、よいところがあると思いますか。

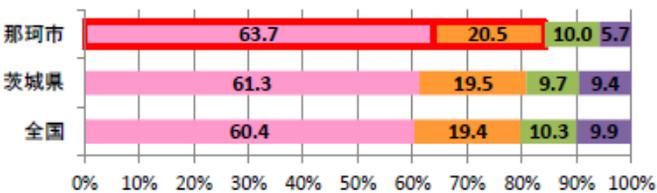
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇「将来の夢や目標を持っていますか。」については、全国と比較すると、小学校はやや高い傾向、中学校は高い傾向が見られる。

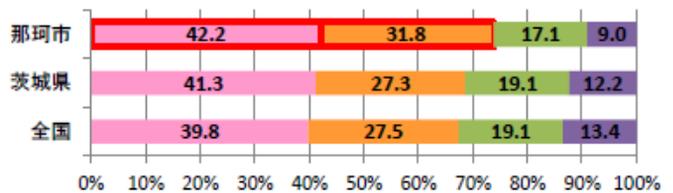
Q:将来の夢や目標を持っていますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q:将来の夢や目標を持っていますか。

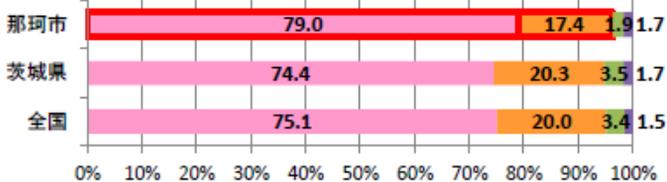
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

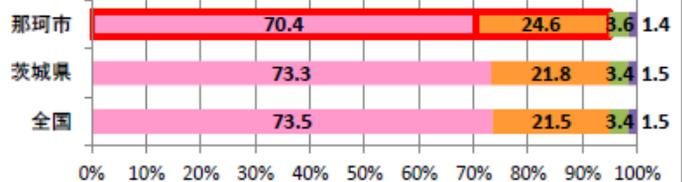
Q:人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



Q:人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年419人、中学3年422人】>

◇ICT機器を用いた学習における全国との比較(参考:茨城県)

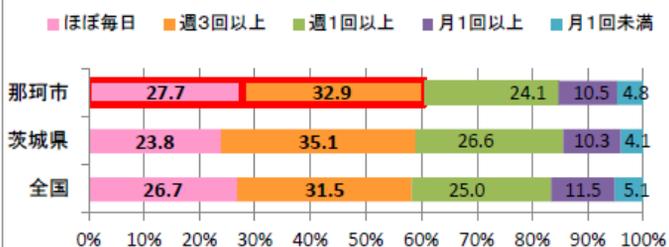
※「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合(%)で比較。

小学校

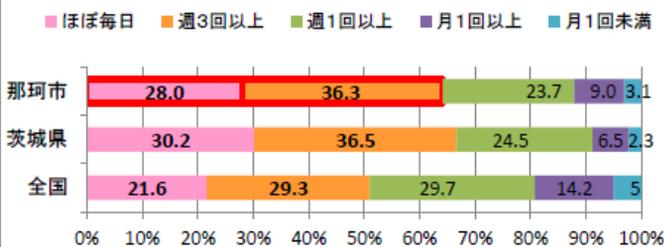
中学校

◇「5年生まで(※中学校は『1、2年生のとき』)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」については、全国と比較すると小学校は同程度、中学校は高い傾向が見られる。

Q:5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

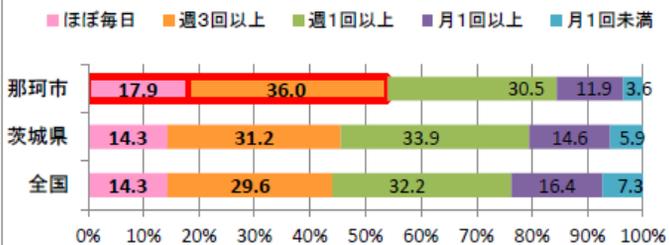


Q:1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

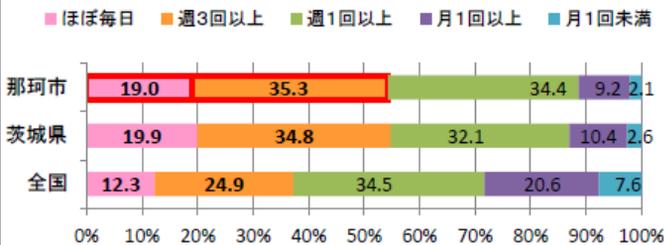


◇「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用していますか。(インターネット検索など)」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに高い傾向が見られる。

Q:学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。(インターネット検索など)

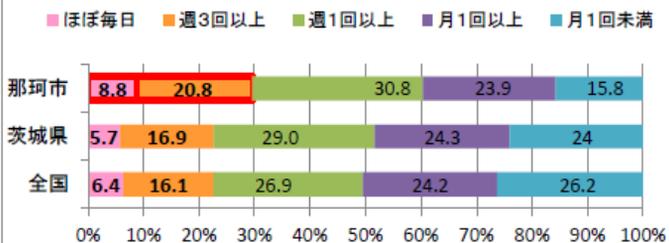


Q:学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。(インターネット検索など)

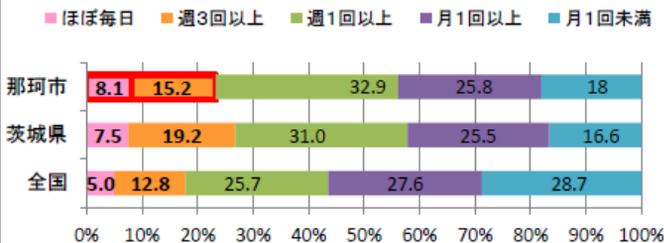


◇「学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに高い傾向が見られる。

Q:学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。



Q:学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。



令和4年度 全国学力・学習状況調査

那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象:小学6年419人、中学3年422人】>

◇ICT機器を用いた学習における全国との比較(参考:茨城県)

※上段=「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合(%)で比較。

下段=「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」の割合(%)で比較。

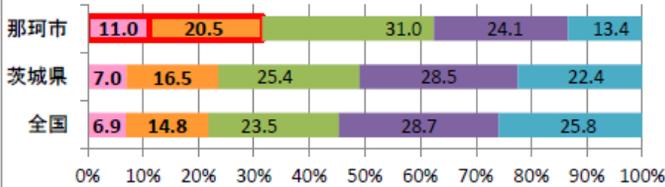
小学校

中学校

◇「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに高い傾向が見られる。

Q:学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



Q:学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

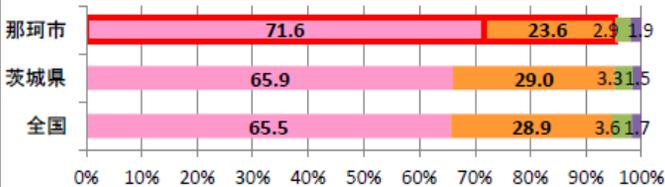
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



◇「学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」については、全国と比較すると、小学校、中学校ともに同程度の傾向が見られる。

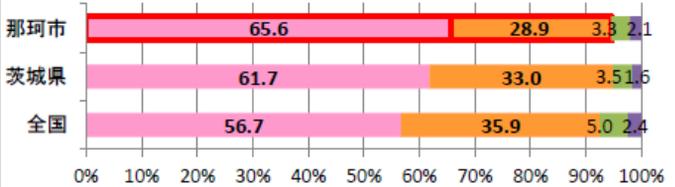
Q:学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

■ 役に立つと思う ■ どちらかといえば、役に立つと思う ■ どちらかといえば、役に立たないと思う ■ 役に立たないと思う



Q:学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

■ 役に立つと思う ■ どちらかといえば、役に立つと思う ■ どちらかといえば、役に立たないと思う ■ 役に立たないと思う



令和4年度 全国学力・学習状況調査 那珂市の改善方策について

那珂市教育委員会

結果から見えてきた課題の改善方策について

○小中学校が「授業」で継続して取り組んでほしいこと

- ◇全国、茨城県、那珂市の調査結果と自校の調査結果を比較・分析し、課題を明確にした上で授業改善を行う。
- ◇課題設定の方法や学習形態を工夫することで、児童生徒が主体的に学習課題へ取り組めるようにする。
- ◇授業や単元終末の振り返りの時間を大切にし、児童生徒が「何を学んだか」「何ができるようになったか」を確認できるようにする。
- ◇文部科学省が示している「授業アイデア例」を参考に、課題となっている領域や分野を改善できるような授業を構想する。
- ◇これまでの教育実践と1人1台端末を活用した実践の融合（ベストミックス）を図り、個別最適な学びと協働的な学びを往還させていくことで、児童生徒の資質・能力の確実な育成を図る。

今後の更なる学力向上に向けた改善方策について

○教育委員会から発信していくこと

- ◇小中一貫教育の特性を生かし、「学ぶ力」と学んだことを「生かす力」の習得を図っていける授業づくりが実現できるよう支援していく。
- ◇「学力向上研修会」「ICT活用研修会」等を通し、児童生徒の資質・能力を育成する授業づくりが実現できるよう支援していく。
- ◇「指導室だより」やHP等を通して積極的に情報発信を行い、特色ある授業の実践例を市内で共有できるよう支援していく。